



鶏 鳴

2010年9月12日(第39号)

イエスの言葉

『剣を取る者は皆、剣で滅びる』

聖書(マタイ福音書26章52節)

牧師 河合裕志

夜、オリーブ山麓のゲツセマネの園でのこと。イエスを捕えようと裏切者のユダを先導として剣(つるぎ)や棒を持った一隊がたいまつをかざしてやって来た。イエスは逃げないでこれを待ち受ける。『ユダはすぐイエスに近寄り、先生、こんばんは、と言って接吻した』。

薄暗がりの中だけれど数年共に過したユダはイエスを間違えることはなかった。

接吻が合図となって一隊は進み寄りイエスに手をかけて捕えた。たやすい捕物。しかしここで思わぬことが。『そのとき、イエスと一緒にいた者の一人が、手を伸ばして剣を抜き、大祭司の手下に打ちかかって、片方の耳を切り落とした』。

この時イエスは言った。『剣をさやに納めなさい。剣を取る者は皆、剣で滅びる』。誠に名調子。ここでひょいと口をついて出て来た。これはしかしかねて心であたためていた言葉ではないかな。

イエスなりにこれまでのイスラエル史、世界史を見ていた。これを観察していた。この結論がこういうことでなかったか。

イスラエルと世界に見る興亡史。大きな軍事力を持ったものが王となり帝王となるのだがしかしこれが永続することが難かしい。次に更に強大な軍事力を持つものが現

れこれを打倒し支配者となる。

しかしこの者も永遠というわけではない。実に剣を取る者は皆、剣で滅び去っているなあ。例外はないな、とイエスには思っていた。

これって真理なのか。真理だと思う。

わが国にも適用できる。悔しいけれどその通りになったんじゃない? 大日本帝国! その陸海空軍力は絶大なものだった。軍事力にも言わせ近隣諸国に進攻した。勝利、勝利、また勝利。向うところ敵なし。破竹の勢い。しかしこれもやがてかげりを見せ負け戦が増えて行く。最後には原爆を二発も投下され敗戦に至る。310万人もの生きるべき命が失われた。

今軍事力を誇る国はどこ? アメリカ? アメリカもいずれこの真理によって滅びる時が来る。9.11どころではない。全米的に災禍が及ぶ。

そうならないためにどうする。核兵器なき世界を身をもって示しなさいよ。通常兵器も削減なさい。諸国も同じようにしなさいよ。そして紛争は全て国連で話し合いによって解決をはかるようにしなさい。日本はどこよりも熱心にこの方向でいきたいもの。

集会案内

主日礼拝 : 毎日曜日午前10時15分
 主日夕拝 : 毎日曜日午後6時
 子どもの教会 : 毎日曜日午前9時
 中高青年会 : 毎日曜日礼拝後
 おしゃべり会 : 毎木曜日午前10時
 聖書を学ぶ集い : 第4水曜日午前10時